

町民のひろは

油絵

鈴木武さん
(上町第2・64歳)

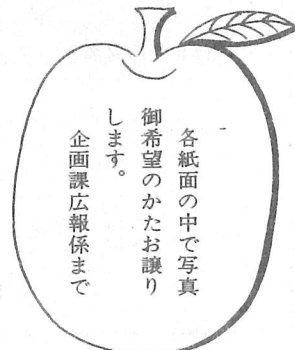
これあれ自慢



①

三年前から中央展(東京、新槐樹社・堀田清治会長)に出展し、現在正会員として活躍中。「会員になれたのは、よい師にめぐり会えたおかげですよ」とひかえめだが、腕前は相当なもので町内でも有数の画家と称され、知られている。

「これからは周囲の事物にとらわれず、自分らしいものを描いていきたい」と語る鈴木さんは、よき伴侶の理解を得て今日も風景画作成に東奔西走している。



各紙面の中で写真御希望のかたお譲りします。
企画課広報係まで

私の健康法 砂子弥六 (東町第3・77歳)



十余年前から続けている朝二十分の老人体操。おかげで今だ肩の張ったことがありません。朝の体操がいかに健康に重要であるか、

つくづく感じている毎日です。食事は、肉類は魚以外は一切食べず、野菜、果物等を多く取るようにしています。酒、タバコは呑みません。

また、趣味でたしなんでいる川柳、俳句が非常に頭の体操になり、四六時中、退屈しません。毎日おこなわれる川柳会に出席するのが何よりの楽しみです。

※投稿ありがとうございました。これからもどうかお元気で、ますます長生きをしてください。



「おとしよりに生きがいを」 高蝶さん(上町第3) 老人ホームを慰問



踊りを通じて生きがいを見つけさせてやりたい——上町の高蝶幸子さんは、奉仕活動で月二回老人ホームを慰問し、おとしよりに喜ばれている。

とかく閉じ込めりがちな老人たちにとつてこの善行は何よりも楽しみらしく、高蝶さんの親切でいねいな指導に何回も催促。額に汗をにじませながら踊るその姿は活気に満ちていた。

心やさしい高蝶さんは、「踊りのみでなく、体の不自由なおとしよりの為には特徴のいかしたものを……」と善意の深さを語ってくれた。



大和

やまと

二年前にチームを結成。現在部員数は宇都木監督以下13名。

昨年の町内大会では決勝戦で惜敗。大きな和を合言葉に「今年こそは……」とチーム全員が意欲的に練習に励んでいる。

